



平成 21 年 1 月 20 日

各位

(財) 日本モーターサイクルスポーツ協会
ロードレース委員会

**09 全日本ロードレース選手権・チャレンジカップ選手権
GP125 および GP250 クラス 4 ストローク車両の参戦について**

全日本ロードレース選手権 GP125 クラスの 4 ストローク 250cc 単気筒車両の技術規則の変更、および GP250 クラスに新たに 4 ストローク 600 cc までのプロトタイプ車両の参戦枠を設けることになりました。

2 年目を迎える GP125 クラス 4 ストローク車両は、プロトとプロト 2 のエンジン区分が変更になりましたのでお知らせいたします。2009 国内競技規則書をご確認ください。

< 参加できる車両について >

4 ストローク車両の技術規則（以下）に合致する車両のみ参戦が許可される。

GP125 クラス

○ プロト車両

4 ストローク 250cc 単気筒 車両 （技術仕様「GP フォーミュラ技術仕様 9-1 項」参照）

プロト車両に、モトクロス、エンデューロエンジンも参加することが認められる。

（但し、GP-MONO 用として供給されたエンジンは、プロト 2 にのみ参戦できる。）

○ プロト 2 車両 （技術仕様「GP フォーミュラ技術仕様 9-2 項」参照）

モトクロッサー・エンデューロエンジンベース 4 ストローク 250cc 単気筒 車両

解説：モトクロス、エンデューロ（GP-MONO 用として供給されたエンジンを除く）エンジンを
使用する場合は、プロト、プロト 2 いずれのクラスでも選択することができる。

GP250 クラス

GP250 クラスに参加する 4 ストローク車両の名称を「GP2 プロト」と呼ぶ

○ GP2 プロト車両

4 ストローク 600 cc までの車両 （技術仕様は、別途発表）

GP2 プロト車両は、GP250 クラスのシリーズポイントおよび賞金は賞典外とする。

< 4 ストローク車両での参戦にあたり ※1>

プロト・プロト 2・GP2 プロトの全ての 4 ストローク参加車両は、エントリー前に「出場車両申請書」※2
を大会主催者（年間エントリーは、ART）経由にて MFJ ロードレース委員会へ提出および審査に合格しな
ければならない。また、車検は、年間エントリー者であっても簡素化車検の対象外とする。

※ 2 「出場車両申請書」は、MFJ のホームページからダウンロードできます。



Motorcycle Federation of Japan

F.I.M./U.A.M. affiliated federation



< チャレンジカップにおける特別参加について >

将来の4ストローク化の推進活動をバックアップのためにも、チャレンジカップ選手権においても「特別参加」枠を下記のとおり設定する。

ロードレース国際ライセンス所持者のGP125またはGP250クラスに4ストロークプロトタイプ車両の**特別参加**を認める。

ただし、GP250クラスのGP2プロト車両は、大会ポイントおよび賞典対象外、予選出走台数にはカウントされません。

< 参加クラスと対象者 >

クラス	対象車両	参加資格	賞典の有無
チャレンジカップ GP125	プロト、プロト2	国際ライセンス所持者	ポイント付与、賞典含む
チャレンジカップ GP250	GP2 プロト	国際ライセンス所持者	ノーポイント、賞典外